

MF 14 Naoyuki FUJITA

藤田 直之



GK 40 PARK Il Gyu

朴 一圭



強敵・広島に対して ベストゲームで勝利せよ!

2月19日にアウェイで広島と戦った開幕戦から9ヶ月。今節で最終節を迎えるJ1リーグ。今季のサガン鳥栖の戦いもこれが最後となる。この最終節にホーム・駅前不動産スタジアムで迎え撃つのは広島。開幕戦は0-0の引き分けに終わったが、互いにチームは成長を続けてきた。広島はスキッペ新監督を迎え、ルヴァンカップを制するなど今季最も成長したチームのひとつであり、リーグ戦でも3位につける強敵だ。

川井健太監督は常々、「最終節にベストゲームを見せたい」と話してきた。「最後だからがんばって何か特別なことをやろうとす

るのではなく、これまでしっかりと積み上げ、いろんなことも試しました。厳しい意見を言われることもありましたが、この最終戦では“これが一番良い”というもので勝負したい」といつもの冷静な口調で語った。キャプテンの藤田直之は「広島の出方によって、ベースには監督の戦術がありますが、その中で少しずつ変える柔軟性が必要になります。僕がピッチに立つたら、そこは率先して声を出してやっていきたい」と話した。副キャプテンの一人である朴一圭は「自分たちが各々のプレーをちゃんとできれば、そう簡単に負けることはない。自分たちが

どうしたいのかを一人ひとりがピッチ上で表現できるように状況を残りの準備期間で作り上げたいと思います」と話した。

最近勝利から遠ざかっているが、新たな武器を手に入れるためにチャレンジしてきたからこそ。この今季最終戦では、川井監督が言い続けてきたベストゲームを見せてくれるはず。鳥栖の選手たちを信じて熱い声援を送り、スタジアムの雰囲気最高潮に盛り上げよう。そして、選手とサポーター、一丸となって戦って勝利を掴み、歓喜しよう!